

令和 5 年 2 月 27 日

第 558 回益田市議会定例会

令和 5 年度施政方針

益 田 市

第 558 回益田市議会定例会の開会にあたり、令和 5 年度の施政方針を申し述べ、市民の皆様並びに市議会議員各位のご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

〔はじめに〕

益田市市制施行 70 周年という大きな節目を迎えた令和 4 年度は、依然として収束の兆しを見せない新型コロナウイルス感染症に加え、急激な円安やロシアによるウクライナ侵攻など、市民生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼす要因が重なりました。

本市としては、ワクチン接種事業を推進するとともに、国の交付金を最大限活用するなどして、「ますだ地元経済応援券」の配布や、子育て世帯及び生活困窮者への支援、水道の基本料金等相当額の支援などにより、速やかな対応を図ってまいりました。

また、交通インフラについては、西日本旅客鉄道株式会社から不採算路線の状況が公表されるなど、空港利用促進や高規格道路整備に加え、鉄道路線の維持のためにも的確な対応が必要であることを否応なく認識させられました。

一方で、東京 2020 パラリンピック競技大会でメダルを獲得したアイルランド自転車競技選手と市民との交流事業を実施したことで、今後の本格的な交流の足掛かりとしたほか、デジタル・トランスフォーメーションによる市役所窓口サービスの改革に向けた準備・検討や、株式会社山陰合同銀行との「カーボンニュートラルに

関する連携協定」締結により、「危機を機会に転じる積極思考」を段階的に推進し、将来への展望を開いてまいりました。

〔令和 5 年度 of 取組方針〕

令和 5 年度は、萩・石見空港の開港 30 周年、J R 益田駅の開業 100 周年、そして柿本人麿公没後 1300 年となることから、令和 4 年度に増して大きな節目の年となります。

新型コロナウイルス感染症については、政府は令和 5 年 5 月 8 日をもって、感染症法上の位置づけを「2 類相当」から「5 類」に移行することを決定しました。ウィズコロナからアフターコロナへの転換により市内経済の速やかな回復を図る一方、市内感染の広がりを抑える措置を機敏に講じることがより強く求められるようになると考えられます。

現状は、感染症の流行、気候変動、技術革新、国際的なビジネスや人的交流などにおいて地球全体の一体化が進む一方、人口減少、少子高齢化、人材の流出、地域交通の収支悪化、インフラ整備の遅れと施設の老朽化など、地方都市の課題が先鋭化する傾向が顕著であることから、地球規模の発想と地域の実態に即した思考に基づき、優先順位を意識しながら各施策を効率的かつ集中的に実施することにより、持続可能な未来都市の実現を目指してまいりたいと考えております。

後ほど提案する令和5年度当初予算は、以上のような考え方に基
づき、「第6次益田市総合振興計画」において掲げるまちの将来像「ひ
とが育ち 輝くまち 益田」の実現をすべての事業・取組に共通する
要素として念頭に置き、編成したところです。

〔令和5年度の主要施策〕

それでは、令和5年度に取り組む主要な施策について、「第6次益
田市総合振興計画」における7つの基本目標に沿って、新たな事業
を中心に申し上げます。

(1) 子育てにやさしく、誰もが健やかに暮らせるまち

はじめに、子育てにやさしく、誰もが健やかに暮らせるまちにつ
いてです。

福祉については、核家族化や地縁関係の希薄化が進行する現代社
会において、地域住民の抱える生活課題や支援ニーズも複雑化・複
合化していることから、福祉総務課に新たに「地域生活支援係」を
設置し、子ども・障がい者・高齢者・生活困窮者などの分野別の支
援では十分に対応できない、複数の分野にまたがる困難を抱える個
人や世帯に対応する重層的支援のための体制を整備します。

また、子ども施策に関しては、教育委員会事務局の一部を駅前ビ
ルEAG Aに移転させ、妊娠・出産から就学に至るまで、福祉部局
と教育部局の連携による切れ目のない相談支援体制を構築してまい
ります。

地域福祉については、令和5年3月に策定する「第4期益田市地域福祉計画」の基本理念である「みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくり」に沿って、地域住民や多様な主体が協働して地域福祉を推進する、地域共生社会の実現を目指してまいります。

子育て支援については、「放課後児童健全育成事業」や「小規模多機能・放課後児童支援事業」を引き続き実施し、適切な遊びや生活の場といった子どもの居場所を確保することで、保護者が安心して仕事と子育てを両立できる環境づくりを進めてまいります。

相談支援体制については、引き続き妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない伴走型相談支援を行うとともに、関係機関との連携により児童虐待の未然防止・早期発見に努めます。また、令和5年度からの国のデジタル田園都市国家構想総合戦略に示された方針に従い、母子保健を担う「子育て世代包括支援センター」及び児童福祉を担う「子ども家庭総合支援拠点」双方の機能をあわせ持ち、一体的に相談支援を行う「子ども家庭センター」の設置に向けた検討を進めます。

高齢者福祉については、加齢による慢性疾患及び社会的なつながりや認知機能の低下などによる、健康と要介護の中間段階であるフレイルの状態に陥ることを防ぐため、疾病予防と生活機能維持の両面での支援に向け、関係機関と連携していくとともに、事業の企画・調整等を担当する保健師を配置し、保健事業と介護予防事業を一体

的に実施してまいります。

また、介護人材確保のため、関係機関と連携し、入門的研修を実施するなど、介護人材の裾野を広げるための取組を継続します。

障がい者福祉については、「障がいのある人もない人も個人の尊厳が重んじられ、地域の一員として安心して暮らせるまち」の実現に向け、令和5年度に期間満了となる「安心いきいきプラン」について、次期計画の策定に取り組みます。

健康づくりについては、「健康ますだ市21推進協議会」を核として、地域・関係機関・行政が一体となって取り組む「健康づくり市民運動推進事業」を継続して実施します。

また、IoTを活用した血圧管理等の「スマート・ヘルスケア推進事業」を継続して実施することにより、家庭血圧測定の実践化と生活習慣の改善につなげ、脳卒中等の生活習慣病を予防し、市民の健康寿命の延伸を図ります。

このほか、自死対策を総合的かつ効果的に推進するため、令和5年度に期間満了となる「益田市自死対策総合計画」について、次期計画の策定に取り組みます。

地域医療については、「公的病院支援事業」、「休日応急診療事業」等による病院支援や、「地域医療教育推進事業」、「ドクターサポート推進事業」、「産科医等確保支援事業」等による医療従事者確保対策に加え、私が直接大学の医学部を訪問し、医師派遣の継続及び充実

を要請するなど、引き続き積極的に取り組んでまいります。

一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて、講演会の開催など人権教育や啓発活動を実施し、「益田市人権・同和問題基本計画」に基づく取組を継続します。

また、「第4次益田市男女共同参画計画」に基づき、様々な分野で誰もが性別に関わりなく平等に参画でき、その個性と能力を十分に発揮できる環境づくりの推進に継続して取り組んでまいります。

(2)ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち

次に、ふるさとを想う心にあふれた人が育つまちについてです。

益田市「教育に関する大綱」に基づき、引き続き総合教育会議を通じて、市長部局と教育委員会が教育の目標や施策の方針を共有し、連携を図りながら、教育・文化の振興に取り組めます。

教育環境の充実については、令和4年度に引き続き、小・中学校の特別教室に空調設備を設置してまいります。また、老朽化した教具及び遊具の更新を計画的に実施してまいります。

学力・学習状況調査において、児童・生徒の教科の平均正答率と読書への好意度との間に相関が見られることから、学校図書の実質や、学校司書の在籍時数の改善、学校図書館への優先的な空調設備の設置等、子どもたちの読書活動の実質や環境改善に努めてまいります。

「益田市型中高一貫教育」を更に推進するため、高度理系人材の育成を目的とした、島根大学及び松江工業高等専門学校との連携を深めてまいります。

また、市内小・中学生が、より意欲的に学びに向かう環境を提供することで、学力育成と高等学校卒業後の選択肢の充実を図ることを目的として、市内の高等学校と連携した新たな取組も展開してまいります。

さらに、高校魅力化を推進している市内4校が自校の魅力を小・中学生に発信する活動についても、継続して支援いたします。

史跡益田氏城館跡については、三宅御土居跡の整備を推進するとともに、周辺の日本遺産関連史跡と連携させ、歴史文化に対する理解と関心、地域への誇りの醸成につなげてまいります。

スポーツ振興については、2030年に開催が予定されている「第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会」を見据え、新たにサイクルスポーツ振興事業として、競技者の育成を進めるとともに、広く市民が自転車に親しむ環境の整備を進めてまいります。

「第3次益田市食育推進計画」については、令和5年度で期間満了となることから、益田市食育推進会議の議論等を踏まえながら、次期計画の策定に取り組みます。

(3) 産業・観光振興による活力のあるまち

次に、産業・観光振興による活力のあるまちについてです。

産業振興については、市内の生産者や企業等の課題解決や新たな取組への挑戦を支援するとともに、担い手確保に向け、関係機関との連携及び庁内連携を継続してまいります。

農業については、「ますだ食と農の基本計画」に基づき、生産振興等に努めるとともに、農業者や関係機関と連携し、対話や交流を通して、食と農の重要性や農業の魅力を発信し、農業の担い手づくりを推進します。

また、「益田市堆肥センター」の活用を進めることで、堆肥の安定生産による循環型農業を推進するとともに、畜産農家の家畜排せつ物処理に関する負担軽減を図ります。

さらに、農業水利施設については、引き続き農業水路等長寿命化・防災減災事業を実施することで、施設の計画的な管理を行ってまいります。

林業については、森林環境譲与税を活用し、森林整備や路網整備等に加え、地域産材の加工・流通の仕組みづくりに関するモデル事業に取り組むとともに、木工や林業体験を通じた都市間交流を進めます。

水産業については、アユ放流事業を継続するとともに、漁場環境の整備にも取り組みます。漁港施設の整備にあたっては、「漁港施設・

海岸保全施設点検・個別施設計画」に基づき、着実に進めてまいります。また、認定新規漁業者に対し、必要な支援を実施いたします。

商工業については、既存事業の拡大及び業務転換を含む新分野への挑戦や、起業及び事業継続への支援を行う「新事業チャレンジサポート事業」を拡大して実施します。

また、ものづくりやIT産業界の基盤強化につながる、理数系人材の育成に向けて、協定に基づく松江工業高等専門学校との連携により、引き続き、児童・生徒が理数系教科への興味関心を持てるよう促すとともに、地元企業との交流を深めてまいります。

さらに、萩・石見空港の東京線2往復運航や山陰道の整備進捗に伴う石見臨空ファクトリーパークの交通アクセス改善を発信するなど、引き続き島根県と連携し、企業誘致を積極的に進めてまいります。

観光業については、事業者・関係団体・専門家等と連携し、地域の「稼ぐ力」を引き出す総合産業というコンセプトに基づいて、観光資源の掘り起こしと魅力向上を進め、地域DMOの設立、及び候補DMOの登録を目指してまいります。

中世益田の日本遺産については、歴史文化に関する観光周遊、地域活動の拠点として整備した歴史文化交流館が令和5年4月にオープンすることから、「益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会」との協働により、開館記念特別展を始め企画展を開催する

とともに、ナビゲーターの養成や観光コンテンツの開発に取り組み、これまで整備した看板、サイン、ポータルサイト等の活用やガーデンツーリズム「雪舟回廊」のストーリーとの連携も意識し、その機能を最大限活かしてまいります。

令和4年8月に「益田市高津川かわまちづくり」計画が、国土交通省の「水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す取組」に登録され、令和9年度までにやぶさめ公園付近、豊田公民館付近の2箇所の水辺拠点や高津川沿いを周遊できるサイクリングコースを整備する予定となっています。

本市においては、令和5年度に「益田市自転車ネットワーク計画」を策定予定であり、国・県の道路管理者及び警察と連携を図り、自転車通行空間の整備を推進していくこととしています。

これらにあわせ、自転車を活用した観光メニューや受入体制を整備し、来訪者と市民によるサイクリングを通じた交流を促進します。

交流事業については、姉妹都市である大阪府高槻市、文化・スポーツなどの交流を進める神奈川県川崎市、空港で結ぶ友好都市である大阪府豊中市などとの都市交流を推進することにより、交流人口の拡大と経済活動の活性化につなげてまいります。

また、中国寧波市との友好交流を継続するとともに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプにより育まれたアイルランドとのご縁を持続的な交流につなげるべく、姉妹都市協定等の締結を目指します。

令和5年度は、柿本人麿公没後1300年を迎える年にあたります。関係団体等と連携して、人麿ゆかりの地としての機運を醸成するとともに記念事業等を行うことで、全国に誇れる「人麿のまち」を目指してまいります。

(4)ひと・もの・情報をつなぐネットワークが整備されたまち

次に、ひと・もの・情報をつなぐネットワークが整備されたまちについてです。

令和5年7月2日に開港30周年を迎える萩・石見空港については、更なる利用拡大につながる記念事業を実施するとともに、令和5年春に中間評価の実施が見込まれる羽田空港発着枠政策コンテストによる東京線2往復運航の定着、及び大阪線の運航期間の拡大に向け、全日本空輸株式会社、島根県、萩・石見空港利用拡大促進協議会を構成する利用圏域市町、経済団体及び関係者と一体となって、イン対策・アウト対策の両面で、路線の維持・充実を図ってまいります。

また、JR山陰本線と山口線の結節点である益田駅が、令和5年4月1日に開業100周年を迎えることから、事業者と連携して記念式典を開催し、欠くことのできない交通インフラである鉄道路線の維持・確保に向け、利用促進に努めてまいります。

山陰道の整備促進については、三隅・益田道路、益田西道路、益

田・田万川道路の事業推進及び益田道路（久城～高津間）の早期事業着手に向け、引き続き関係機関と連携した要望活動を行います。

また、事前通行規制区間となっている一般国道9号の神田町～津和野町枕瀬間については、令和5年1月に設立された「一般国道9号（益田市～山口市間）整備促進期成同盟会」と連携し、抜本的な防災対策を要望してまいります。

あわせて、グリーンライン90の全線整備、及び都市計画道路元町人麿線高津工区の早期完成と同吉田工区の整備着手に向け、引き続き地元同盟会と連携し島根県に働きかけてまいります。

市道については、緊急性の高い箇所から歩道の設置や路肩拡幅等の改良及び維持補修を進めてまいります。

地域公共交通については、「生活バス事業」と「乗合タクシー運行事業」の統合により、一般旅客自動車運送事業による乗合タクシー事業を拡充するとともに、引き続き、令和4年9月に策定した「益田市地域公共交通計画」に基づき、市民の利便性向上に向け取り組んでまいります。

地域情報通信基盤については、情報通信技術の進歩に対応し、住民や企業のニーズに応じたサービスの提供が可能となるよう、通信容量の拡大や品質の向上及び将来の設備更新に備え、民間移行を進めてまいります。

(5) 安全で快適な環境で暮らせるまち

次に、安全で快適な環境で暮らせるまちについてです。

人口減少、少子高齢化に対応したまちづくりの指針として、令和5年3月に「益田市立地適正化計画」を策定することとしておりますが、令和5年度はこの計画の内容を盛り込み、都市計画の基本方針となる「益田市都市計画マスタープラン」を策定いたします。

益田川左岸南部地区土地区画整理事業については、「益田川左岸南部地区土地区画整理組合設立準備委員会」と連携し、国・県などの関係機関との協議を進め、令和6年度中の組合設立認可及び事業着手を目指します。

あわせて、通常時には賑わい創出の場として、災害時には一時避難所として活用する防災公園については、令和6年度着工に向け、都市計画の変更手続を進めてまいります。

また、安全で安心して利用できる憩いの場として、引き続き「益田市公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化が進む益田運動公園テニスコート等の改修を進めます。

地域住宅整備事業については、「益田市営住宅長寿命化計画」に基づき、市営諏訪住宅2号棟の建替え及び住宅の外壁改修等ストック改善工事を行います。

地球温暖化対策については、環境衛生課内に新たに「カーボンニ

ュートラル推進室」を設置し、令和5年3月改定予定の「益田市地球温暖化対策実行計画」に沿って、市内全域及び市行政機構の脱炭素化を推進してまいります。

また、「カーボンニュートラルに関する連携協定」を締結した株式会社山陰合同銀行と連携し、地域経済への波及効果も視野に入れ、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めてまいります。

廃棄物処理対策については、「益田市久城が浜センター長寿命化総合計画」に基づき、久城が浜センターを令和20年度まで稼働させることとし、基幹的設備改良工事の第2期工事に取り組んでまいります。

また、「益田市一般廃棄物処理基本計画」は、令和5年度が中間目標年度となることから、これまでの経過を検証するとともに、「益田市地球温暖化対策実行計画」に掲げる温室効果ガス削減目標に対する達成度を踏まえ、計画の見直しに取り組みます。

水道事業については、基本目標である「安全・強靱・持続」の実現に向け、引き続き緊急度・優先度の高い箇所から、水道施設の耐震化・更新に取り組むとともに、経営基盤の強化に努めます。

汚水処理対策については、引き続き中心市街地における公共下水道の汚水管路整備を進めるとともに、既存の農業集落排水施設の機能強化を図る一方、下水道処理区域外の地域においては、個人設置による合併処理浄化槽整備に対する支援を行い、汚水処理人口普及

率の向上を図ります。

(6)人と人がつながり、支え合うまち

次に、人と人がつながり、支え合うまちについてです。

令和4年6月に制定された「益田市中山間地域振興基本条例」に基づき、「(仮称)中山間地域振興基本計画」の策定準備を進めるとともに、市民が住み慣れた地域で安心して住み続けることができる地域社会の実現を進めてまいります。

また、持続可能な地域づくりに向け、中間支援組織や地域おこし協力隊員と協働し、「地域のひとと協力し、地域を支えるひと、地域の資源を活かせるひと」といった地域の担い手育成に取り組んでまいります。

令和5年1月に竣工した学校教育と社会教育の複合施設である「益田市立地域活性化交流館」については、真砂小学校及び真砂公民館に加え、3月以降、保育所や診療所も入居予定であり、「学校を核とした地域づくり」の先駆的な拠点施設となり得るものであることから、地域と緊密に連携し、効果的な活用を図ってまいります。

豊川公民館については、老朽化等により建物の維持・管理が困難となっていることから、小学校等公共施設との連携を視野に入れながら、整備を進めてまいります。

旧二川小学校を改修し、令和5年4月に竣工する「益田市立宿泊交流センター」については、関係人口の創出や地域文化の伝承を目

的とする施設として、青少年を中心とした交流活動が活発に行われるよう、指定管理者による運営を支援してまいります。

島根大学、島根県立大学及び大正大学との各連携協定に基づき、大学における調査研究を継続し、地域活性化のための提案を受けるとともに、都市部において益田市の人々や地域と多様なつながりを持つ関係人口を拡大する取組を行います。

移住・定住促進については、移住希望者等に対し有効な情報を発信し、「空き家バンク」の活用や、ますだ暮らしサポーター企業及びUIターン者サポート宣言企業等との連携により、移住者の生活を支えるとともに、県外に在住する市内出身の学生等へのSNSによる情報発信、東京・大阪における交流拠点の活用、インターンシップなどの体験プログラムの支援を行う益田市版「ツナガル」事業により、学生の市内就職を促進してまいります。

緊急輸送道路沿いの通行障害既存耐震不適格建築物については、耐震診断及び耐震改修等に要する費用の一部助成を行うことで、引き続き沿道建築物の安全性の確保を図ります。

防災体制の充実については、自ら避難することが困難な避難行動要支援者のうち、高齢者及び障がい者等の個別避難計画の作成に取り組み、実効性のある避難体制の構築に努めてまいります。

消防体制の強化については、老朽化した消防車両を年次計画により整備するとともに、消火活動に必要となる消防水利についても計画的に整備します。

また、地域防災の要である消防団については、処遇改善を行うとともに、引き続き広報活動等に注力し、団員確保を図ります。

(7) 健全で開かれた行財政運営が行われるまち

最後に、健全で開かれた行財政運営が行われるまちについてです。

市民ニーズに対応した行政サービスについては、固定資産税・軽自動車税について、地方税共同機構の「地方税お支払いサイト」を活用し、クレジットカードやスマートフォンによる納税も可能とすることで、市民の公金納付の更なる利便性向上を図ります。

広報については、従来の伝達手段に加え、「LINE公式アカウント」や「YouTube公式チャンネル」などのSNSも有効に活用し、積極的な情報発信を行ってまいります。

使用電力の調達については、公正な競争によるコスト抑制の一方で、地球温暖化への影響も考慮に入れた対応を図ります。

令和4年度に返礼品調達発送等事業者公募要領を改定し、宿泊・観光・体験活動等も返礼品メニューに加えたふるさと寄附については、引き続き、寄附活用事業に関する情報発信と開発支援による新商品も含めた返礼品の充実に努め、歳入確保及び産業振興を図ります。

す。

企業版ふるさと納税については、引き続き、企業に対し積極的に、地域貢献度の高い事業を提示し、支援を働きかけることで、官民連携による地方創生の推進につなげてまいります。

行財政改革については、総務省が策定した自治体DX推進計画の対象期間が令和7年度末までとされていることから、着実にDXを進めるため「DX推進課」を新設し、更なる推進を図ります。

具体的には、令和4年度に策定した「益田市自治体DX取組方針」に掲げる、市民の利便性向上と内部業務の効率化を実現するため、国のデジタル田園都市国家構想交付金等の支援制度を活用し、まずは「書かない 行かない まわらない」をコンセプトに、窓口業務改革を実施することとしており、令和5年4月から、先行的に「おくやみワンストップサービス」を開始いたします。

また、令和7年度の完了を目標として、国が基準を示す仕様に基つき基幹業務システムの統一・標準化を行い、行政運営の簡素化・効率化を図ってまいります。

〔おわりに〕

令和4年の市制施行70周年に際しては、これまで本市の発展に寄与された先人への感謝の念を新たにするとともに、今後の更なる発展のための機運の醸成を図ったところです。地方都市を取り巻く環境は厳しさを増していますが、一つひとつの事業を効果的に実施し、所期の目的を達成していくことが、市民一人ひとりの「益田プ

ライド」構築の契機となるとの確信のもと、引き続き、市民の幸福の実現を最大の目的とし、「対話と協調」を重視する姿勢を堅持し、市政運営を進めてまいる決意です。

市民の皆様並びに市議会議員各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。